取扱説明書

DAYTONA corp.

S73767①/⑥

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

COOLROBO2 Easy Talk DAYTONA	適応車種	商品NO.
	汎用	73767

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。

⚠警告

- 航空機内、空港敷地内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください。(電源も入れないでください。)運行の安全、無線局の運用や放送受信に支障をきたしたり、医療機器が故障、誤動作する原因となります。
- 病院等の医療機関では電源を切ってください。医療向け計測器、心臓ペースメーカー等の近くでは使用しないでください。医療機器へ悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 大音量で使用しないでください。周囲の交通の音が聞こえる音量でご使用ください。事故の原因になる恐れがあります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所へ避難してください。落雷や感電に見舞われることがあります。

- 分解、改造、修理をしないでください。火災、怪我、感電、故障の原因となります。
  修理の場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

⚠注意

- 使用中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などが発生した場合は、ただちに使用を中止し、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。

実施

・高温多湿になる場所、熱器具等の近くでの使用放置は避けてください。本体の変形、発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
・ボリュームの設定に気を付けてください。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
・気温の低い場所から、室内等へ移動した場合、本体内部に結露が発生する場合があります。そのまま使用すると発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
・自動ドアや火災報知機の近くでは使用しないでください。自動ドアや火災報知機が誤作動する場合があります。
・本商品の電波が他の通信機器等に影響を与えている場合、ただちに電源を切り、影響を与えない場所でご利用ください。
・本体は走行中にヘルメットから落下しないように確実に取り付けをしてください。
・本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
・油類を付着させないでください。ガソリンやオイル等が付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
・本体、マイクのフレキシブル部分には無理な力をかけないでください。可動範囲には限度があり、無理に力をかけると破損や故障の原因となります。
・本体に手を掛けてヘルメットを持ち運ばないでください。本体が破損するばかりでなく、本体が外れてヘルメットを落下させる恐れがあります。
・接続コネクターは、コネクターを持って確実に抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。
・本製品を取り付けた状態でヘルメットを置く際は、本体に衝撃を与えないように注意してください。

法令違反

・本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国内以外で使用する場合、使用する国の電波法に従い利用してください。
・運転中の使用に関しましては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。

水ぬれ禁止

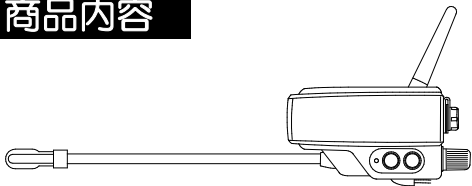
・水がかかる場所への放置や水没はさせないでください。本製品は防滴仕様となっておりますが、長時間にわたり水がかかる場所での使用はお控えください。特にマイク、スピーカーは水に濡らさないようにご注意ください。また、濡れた手で接続端子等の脱着は行わないでください。本体の発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。

その他

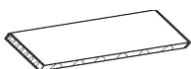
・乳幼児の手の届かない場所に保管してください。付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。

本商品の特徴

・通信方式はＺｉｇＢｅｅ(2.4ＧＨｚ帯)基本ソフトをベースとした独自のプロトコルを使用。
・バッテリーは、単４乾電池２本使用。
・工場出荷時にペアリング済で、単４乾電池を本体に入れて電源をＯＮするだけで即通話可能。
・通信距離は、お互いが見える範囲で約７０～１００ｍ程度。※使用する環境や走行条件によって変化します。
・通話時間は、連続通話で約１０時間可能。(※マイクＯＦＦ機能を使用して当社テスト基準時)
・チャンネルは１Ｃｈでタンデム、ペアツーリング、サイドカー等で１対１の通話。
・セット以外のＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２やＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋとの会話も、ペアリングすることで会話が可能。また、１度ペアリングをすれば再ペアリングの必要はありません。
・マイクが自動でON/ＯＦＦするマイクＯＦＦ機能を搭載。

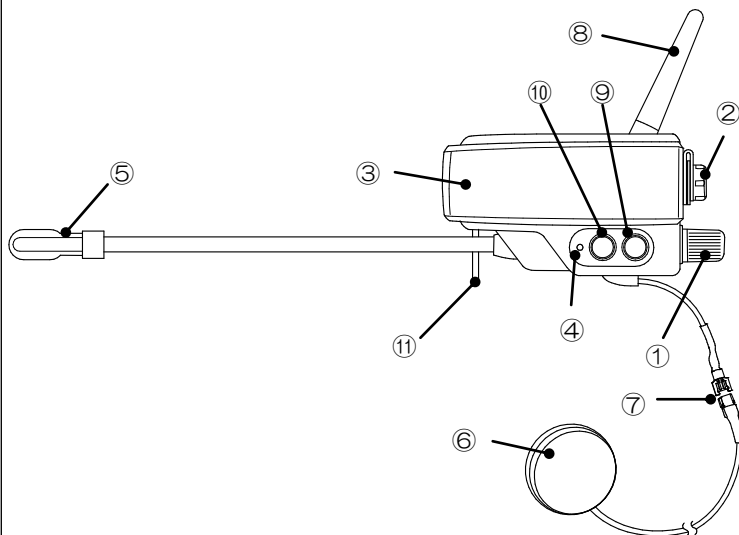
商品内容

・ＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２本体×２台

・スピーカー×２個

・スピーカー固定用面ファスナー×２枚

・本体固定用面ファスナー×２枚

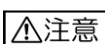
・本体位置調整用スポンジ×２枚

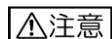
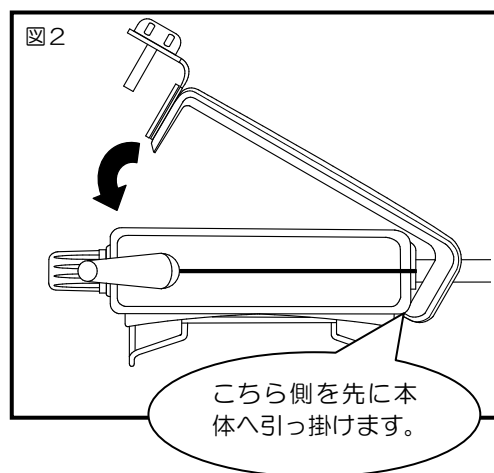
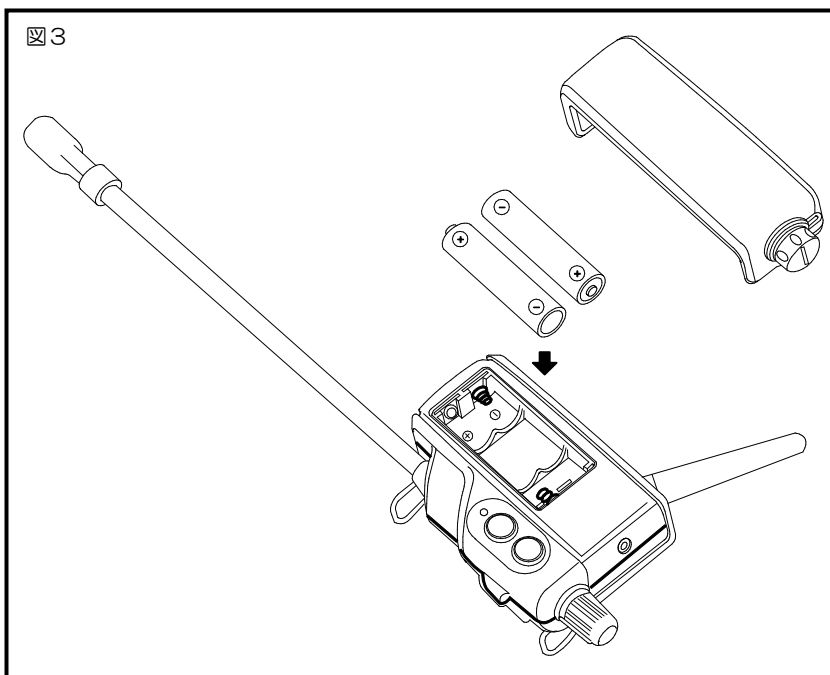
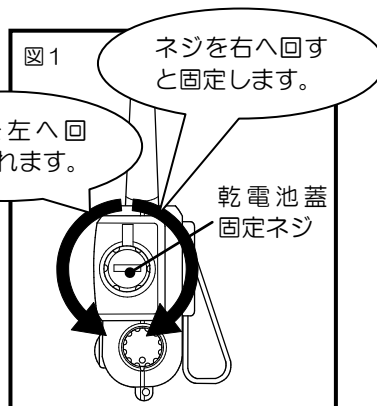
・スピーカー位置調整用スポンジ×２枚

各部の名称と機能

①電源スイッチおよびスピーカーボリューム調整ダイヤル
②乾電池蓋固定ネジ
③乾電池蓋
④ＬＥＤ
⑤マイク
⑥スピーカー
⑦スピーカー接続コネクター
⑧アンテナ
⑨ペアリングボタン
⑩自動マイクＯＮ/ＯＦＦ機能切り替えボタン
⑪ヘルメット取り付けフック

使用方法

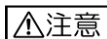
1．乾電池の取り付け

1．本体の乾電池蓋固定ネジを左側（反時計回り）に回し、乾電池蓋固定ネジを取り外し、乾電池蓋を取り外します。(図1、3参照)

⚠注意 ※乾電池蓋固定ネジが、固くて回すことができない場合、コイン等を使用してキャップの溝部分を回すと容易に乾電池蓋固定ネジが取り外せます。また、締め過ぎに注意してください。

2．乾電池(単4)２本を電池ＢＯＸへ挿入し乾電池蓋を取り付けます。(図２参照)

⚠注意 ※図３を参照し、乾電池の向きを間違えないようにしてください。
※１．２Ｖの充電式乾電池も使用可能ですが、ＬＯＷバッテリーの警告音が通常のアルカリ乾電池等に比べ通話時間が短くなります。

３．スピーカーの取り付け

１．ヘルメット左側の保護パッドを取り外し、スピーカーをヘルメットを被った時に耳の穴位置にくるようにスピーカー固定用面ファスナーで固定します。(図４～７参照)

※スピーカーが耳の穴から離れると音声の聞こえが悪くなりますので、使用するヘルメットに合わせてスピーカー位置調整用スポンジを使用してスピーカーの位置を調整してください。

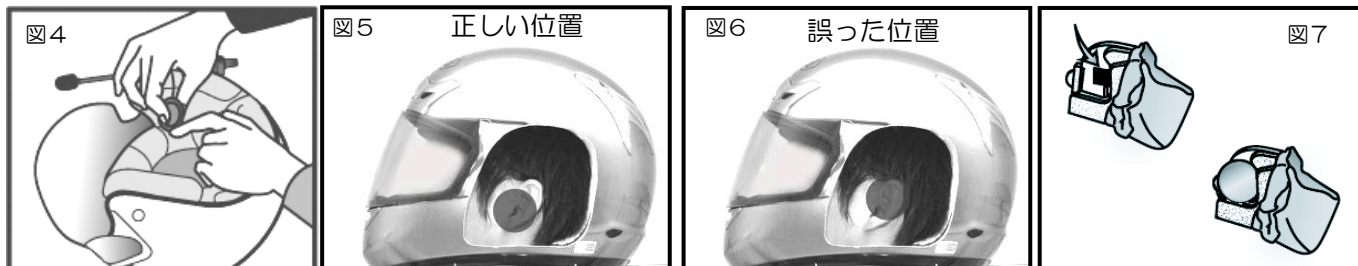
⚠注意

※　内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、スピーカーを内装に組み込むことでより違和感がなくなる場合があります。(図７参照)

※　本体とスピーカーの接続コネクターの抜き差しは、**必ずコネクター部分を持って**行ってください。特に**コネクターを抜く際に配線を引っ張ると配線が断線**します。

図4

図5　正しい位置

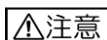
図6　誤った位置

図7

４．本体の取り付け

１．本体の裏面に本体固定用面ファスナーを貼り付けます。(図８参照)

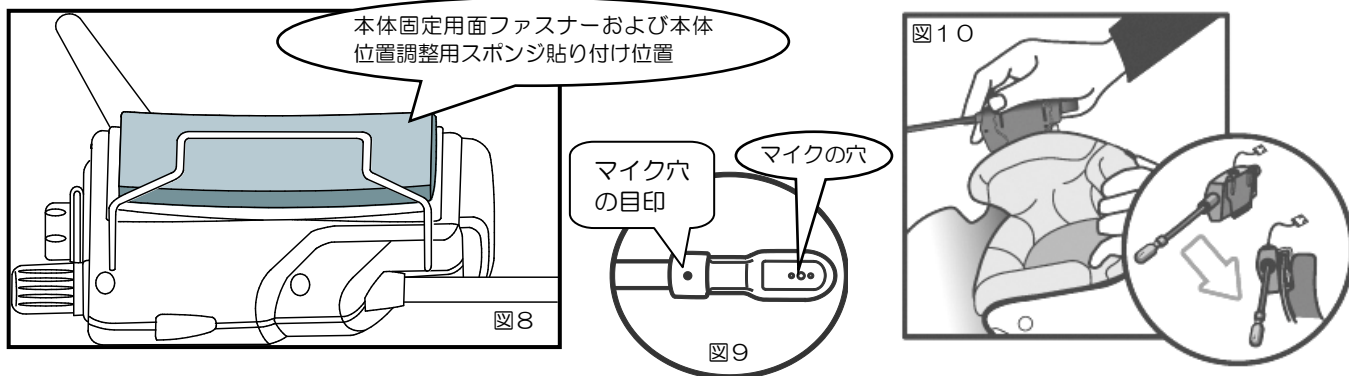
２．マイクの穴の部分が口元に来るように、本体をヘルメット取り付けフックと面ファスナーでヘルメットへ固定します。(図９、１０参照)

３．本体とスピーカーのコネクターを接続し、ヘルメットの保護パッドを取り付けます。

⚠注意

※本体のアンテナがヘルメットに当たる場合は、本体位置調整用スポンジを使用してアンテナがヘルメットに当たらないように本体の位置を調整してください。

※マイクの穴を確認する際は、マイク穴の目印を確認してください。（図９参照）

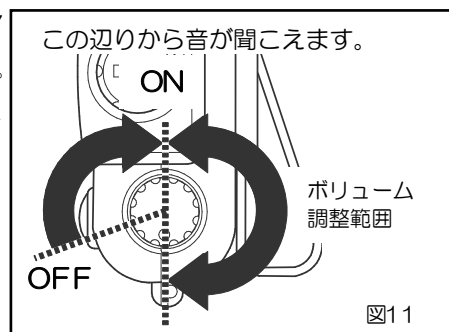
※ 本体とスピーカーの接続コネクターの抜き差しは、**必ずコネクター部分を持って**行ってください。特に**コネクターを抜く際に配線を引っ張ると配線が断線**します。

図8　図9　図１０

５．電源のＯＮ/ＯＦＦとボリュームの調整

１．本体のボリュームを右側に回すと(時計回り）“カチッ”音がして電源がＯＮになります。

２．電源ＯＮからさらにボリュームを右側に廻すと(時計回り）スピーカーの音量が大きくなり、左側に回すと(反時計回り)スピーカーの音量が小さくなります。

３．ボリュームを左側に回して(反時計回り）“カチッ”音がしたら電源がＯＦＦになります。(図１１参照)

図11

６．通話

１．ペアリングができているＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２の**片側の電源をＯＮにし、LEDが点滅後に消灯したことを確認します。**（工場出荷時にペアリング済です。）

２．もう一方のＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２の電源をON にします。

3. 後から電源をON にしたＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２のLED が点滅または点灯後、消灯しましたら自動的に通話状態になります。
また、以下のＬＥＤ作動状態より、親機と子機の確認をしていただき**親機側を先に電源ＯＮすることで比較的ノイズ等の影響を受け難くなり、安定した通話が可能です。**

・３．で後から電源をONしたＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２のＬＥＤが点滅の場合

先に電源をONしたＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２が親機となり、後から電源ＯＮした側が子機となります。
この場合、後から電源ＯＮしたＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２（子機）のＬＥＤが点滅後、点灯状態になるとともに、先に電源をＯＮしたＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２（親機）のＬＥＤが点灯します。その後両方のＬＥＤが消灯したら通話状態となります。

・３．で後から電源をONしたＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２のＬＥＤが点灯の場合

先に電源をＯＮしたＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２が子機となり、後から電源ＯＮした側が親機となります。
この場合、後から電源ＯＮしたＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２（親機）のＬＥＤが点灯後、消灯して通話状態となります。

⚠注意

※上記操作をしても通話状態にならない場合は、どちらか一方の電源を一度ＯＦＦにしてから再びONにすると通話状態になります。
※電源をＯＦＦからONにしても通話状態にならない場合は、『８．ペアリング操作』を参照し、ペアリング操作を行ってください。
※通話中は、ＬＥＤが消灯した状態となります。
※乾電池が消耗するとともに、若干音量が小さくなる場合があります。また、充電式（１．２V）乾電池を使用した場合でもアルカリ乾電池に比べ音量が小さくなります。
※著しい音声の途切れやノイズが多く感じられる場合は、乾電池の残量をご確認ください。乾電池を新品に交換しても改善されない場合は、上記の『６．通話』の手順を再度ご確認ください。
※ＣＯＯＬＲＯＢＯ Ｅａｓｙ Ｔａｌｋ２は、無線機器のため、使用する周囲の環境や場所等により音声の途切れ、ノイズの発生や通信可能距離が変化します。予めご了承ください。

７．自動マイクON/ＯＦＦ機能

マイクに向かって話すと自動的にマイクがＯＮになり音声を相手に伝えます。話すのを止めると約１５秒後に自動的にマイクがＯＦＦの状態になります。この機能を使用すると話しをしていない時のホワイトノイズや通信ノイズが聞こえるのを最小限にします。また、乾電池の消耗を減らし通話時間を延ばすことができます。

・操作方法
マイクON/ＯＦＦボタンを一回押すごとにON/ＯＦＦが切り替わります。（図１２参照）（※工場出荷時は、ON）

⚠注意

※高速走行時は、走行風によりマイクがＯＦＦしない場合があります。
※話してからマイクがＯＮするため、若干、通話の頭切れを起こす場合があります。

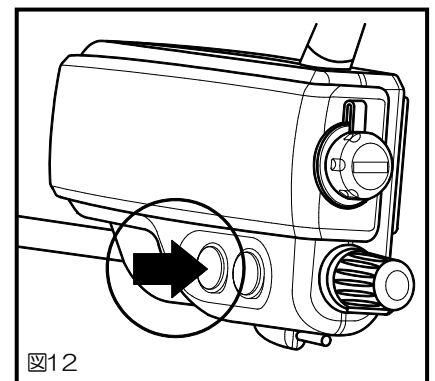



図12

8．ペアリング操作

（※セット以外の COOLROBO Easy Talk、COOLROBO Easy Talk２と使用する場合等）

1．ペアリングをしたい両方の COOLROBO Easy Talk２本体の電源を ON にします。

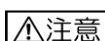
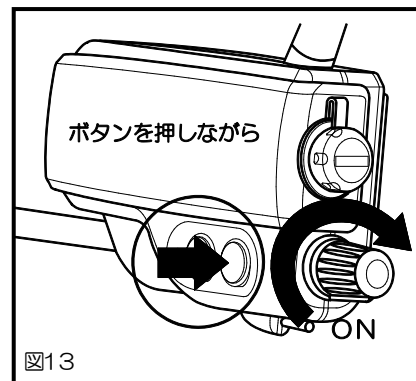
2．電源が ON の状態から COOLROBO Easy Talk２本体のペアリングボタンを押しながら電源を OFF にします。
（※ペアリングオールリセット状態）

3．それぞれの COOLROBO Easy Talk２本体のペアリングボタンをおしながら電源を ON にします。（図１３参照）

4．約１秒後に LED が早い点滅をし始めたら、COOLROBO Easy Talk２本体のペアリングボタンから指を離します。

図13

5．２台共に LED が点滅していることを確認し、どちらか片方の COOLROBO Easy Talk２本体のペアリングボタンを押し続けます。**この時、ペアリングボタンを押した側が親機、ペアリングボタンを押していない側が子機となります。**

6．５．でペアリングボタンを押し続けた COOLROBO Easy Talk２のスピーカーより『ピー』音がしたらボタンから指を離すとペアリングが完了し、自動的に通話が開始されます。

⚠注意 **※４．５．の操作は、それぞれ片側ずつ操作を行ってください。**
※COOLROBO Easy Talk のペアリング操作方法は、同様の手順ですが、詳しくは COOLROBO Easy Talk の取扱説明書を参照ください。
※１．～６．の操作を行っても通話が開始されない場合は、再度ペアリング操作を行ってください。

9．乾電池残量の警報

1．乾電池の残量が少なくなった場合、スピーカーからの警告音と LED の点滅でお知らせします。
※警告音は、『プープー』と約２秒間隔で鳴り、LED も警告音に連動して約２秒間隔で点滅します。
※乾電池の残量が少なくなってから、大声で話しをすると、会話中に『ピー』と一瞬警告音が鳴り、会話が途切れる場合があります。
※充電式乾電池を使用した場合、警告音が鳴る前に電源がＯＦＦする場合があります。
※警報が鳴らない状態でも、通信距離が短くなったり、ノイズが増加してきましたら乾電池の残量が少なくなっている可能性があります。

・乾電池の種類による通信時間の目安

	通話時間	特徴
アルカリ乾電池	８～１０時間	容量が公表されていません。高性能な代表的製品の通話時間です。容量が少ない安価な製品は極短に通話時間が短くなることがあります。
充電式乾電池	４．５～６．５時間	電圧が１．２Vと低いため、通話時間が少なめになります。容量が公表されていますので容量の大きな製品ほど通話時間が長くなります。
リチウム乾電池	１０～１２時間	デジタルカメラ等に使用される高価な乾電池です。容量は公表されていませんが、最も長い通話が可能です。

LED 表示の見かた

表示パターン		状況
……・━ ━━━━	高速点滅後点灯	電源 ON 時に接続相手を検索中。通常、約２～３秒。
	消灯	通話中(電源 ON 時)
………………………	高速点滅	ペアリングモード
━ ━ ━ ━ ━ ━ ━	点滅(約２秒間隔)	バッテリー電圧低下。乾電池の交換が必要。

トラブルシューティング

	Q(質問)	A(回答)	解決方法
1	電源が入らない。	乾電池の極性は正しくセットされていますか？	乾電池(単4)の極性を確認してください。
		乾電池は消耗していませんか？	新しい乾電池(単4)に交換してください。
		電源スイッチは ON になっていますか？	電源スイッチを ON にします。

2	音声が聞こえない・音量が小さい。	スピーカーは、正しい位置に装着されていますか？	スピーカーの位置はできるだけ耳の中心にくるように調整してください。また、ヘルメットの種類によりスピーカーが耳から離れてしまう場合は、スピーカー調整スポンジを使用してスピーカーが耳に可能な限り近づくように位置を調整してください。
		ボリュームの位置を確認しましたか？	ボリュームを調整します。
		マイクが口元から離れていませんか？	マイクが口元から約１ｃｍの位置に調整します。
		マイクの穴の位置が口と反対側になっていませんか？	一度マイクよりマイクスポンジを取り外し、マイクの穴位置が口側になるようにします。
		乾電池の残量は十分ですか？	乾電池の残量が少ない場合は、乾電池を新品に交換してください。
		本体とスピーカーのコネクターは接続されていますか？	本体とスピーカーの接続コネクターの接続を確認します。
3	通信(会話)ができない。	それぞれ使用する本体の電源は ON になっていますか？	電源を ON にします。
		本体がお互いに認識できていない場合があります？	本体のどちらか片方の電源を一度 OFF にして再度電源を ON にします。
		ペアリングが外れている可能性があります。	ペアリング操作手順に従って再ペアリングをしてください。
4	風切り音が入る。	ヘルメットのシールドが開いていませんか？	８０ｋｍ/ｈ以上で走行する場合は、ヘルメットのシールドを閉めて走行してください。(風の音は多少入りますが音声は明瞭になります)
		マイクにスポンジが付いていますか？	マイクスポンジには風切り音を緩和する働きがあります。必ず取り付けて走行してください。
		マイクが口元から離れていませんか？	マイクと口元の推薦距離は１ｃｍ以内です。マイクを口元から離し過ぎると、不要な風が巻き込み、相手側スピーカーの風切り音が増大します。
5	雑音がでる。	静かな場所でボリュームを上げていませんか？(シー･･･音＝ホワイトノイズ、ブーン…音＝通信音)	故障ではありません。走行中には聞き取れない程度のホワイトノイズは常に発生します。また、使用環境により通信音が聞こえることがあります。この音は、走行中には殆ど聞こえなくなります。
		本体のアンテナに物が接触したり、何かで隠れたりしていませんか？(プツ、プツ。パチ、パチ)	本体のアンテナに物が触れたり、使用環境等により通信電波状況が悪くなるとプツ、プツ。パチ、パチ音が発生する場合がありますが故障ではありません。
		お互いの距離が離れ過ぎていませんか？	通信可能距離まで近づいて使用してください。お互いの距離が近くても相手が見えないと通信状態が悪くなります。
6	乾電池の寿命が少ない。	乾電池容量の少ない安価な乾電池を使用していませんか？	マンガン乾電池や１００円ショップ等で販売されている乾電池は、乾電池容量が少ないため、国内メーカーのアルカリ乾電池の使用をおすすめします。
		電源電圧が１．２Ｖの充電式乾電池を使用していませんか？	電源電圧１．２Ｖの充電式乾電池は、使用可能ですが、１．５Ｖアルカリ乾電池に比べ起動電圧が低く、乾電池残量警告が早まります。
		休憩時間等の使用しない時に電源を入れっぱなしにしていませんか？	休憩時等にこまめに電源をＯＦＦすることで乾電池の寿命を延ばすことが可能です。

製品の保証について

・本商品の保証期間は購入日から１年間です。保証書の内容を良くお読みになり理解した上で商品をご利用ください。
・本商品は厳重に管理された工場にて生産・管理しておりますが、万が一不良が発生した場合は、本商品のみの保証対象といたします。本商品以外の部品代金、修理工賃、整備等で発生した費用は保証対象外とさせていただきます。
・外観上本体に大きな外傷、割れ等がある場合は、保証対象外とさせていただきます。予めご了承ください。
・保証修理を依頼される場合は、購入日が書かれ販売店の押印がされた保証書または、購入が証明できるお買い上げレシート等を用意し、お買い求めの販売店または、当社お客様相談窓口までご連絡ください。ご連絡無く商品をお送りいただいても受付できない場合がありますのでご注意ください。
・保証期間内であっても有償となる場合があります。予めご了承ください。

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona-mc.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで